

浅間山周辺

Mt. Asama Outskirts

噴火のカタチを踏みしめる

天明3年の浅間山大噴火で北麓から東麓にかけて広がる浅間高原は、当時の面影が随所に残る溶岩の原野です。その中を浅間山の第一外輪山、最高峰の黒斑山から蛇骨岳、仙人岳、鋸岳の山頂を縦走し、噴火の形を踏みしめることができる本格登山コースは、雄大な浅間山を目の前に眺めることができます。

また、荒涼としたイメージとは正反対の約15万株のシャクナゲが咲き誇る浅間高原シャクナゲ園はゆっくり散策できるお手頃ハイキングコースです。

どちらも自然の醍醐味を満喫できるコースです。

登山にあたっての注意事項

浅間山は活火山です。登山可能コースであっても予知できない噴火により災害が発生する可能性があります。

- 2km規制時は立入禁止看板に従ってください。
- 登山は自己責任で!
- 火山ガスは目に見えなくて大変危険です。
- コース以外は絶対に立ち入らないでください。

浅間山連峰登山コース

難易度 ★★★
歩行時間 約9時間30分



浅間高原シャクナゲ園ハイキングコース

難易度 ★☆☆
歩行時間 約1時間~1時間30分



主な山

あさまやま 浅間山	標高 2568m
くろふやま 黒斑山	標高 2404m
じやこつだけ 蛇骨岳	標高 2366m
せんにもんだけ 仙人岳	標高 2319.1m



『浅間高原シャクナゲ園』

浅間山の麓に広がる約15万株の大輪のシャクナゲと浅間高原の大パノラマはその規模と可憐さが訪れた人々を魅了します。シャクナゲの見頃は5月中旬~下旬。また、レンゲツツジ・ヤナギランそして秋のカラマツの黄葉など、1年を通して楽しめます。



『鬼押し出し園』

天明3年(1783)の浅間山噴火によって生まれた、溶岩の芸術。噴火の激しさを今に伝える岩塊と、豊かな自然が織りなす、浅間高原随一の景勝地です。

『浅間山』

標高2,568mを誇る浅間山は、世界でも有数の活火山として知られています。雄大な姿とその四季折々の美しさから、昔から多くの方々に親しまれてきました。高山植物や高山蝶、野生動物など、浅間山と連なる山々の自然は、数多くの貴重な動植物を育てています。独立峰であるため、浅間山山頂からの展望は素晴らしく、富士山を望むことができる日もあります。



『浅間山溶岩樹型』

溶岩樹型とは、火口から噴出した溶岩流が、山麓に茂っていた森林中の大木をおおい、そこで冷え固まり、その後樹木の幹が朽ちたためにできた井戸状の窪みのことです。現在、浅間山周辺に約500ヵ所現存しており、国の天然記念物に指定されています。